

社会科学学習指導案

日時 2005年11月11日(金)5教時
学校名 倶知安町立東陵中学校
学年 3年A組
生徒 男子20名 女子16名 計36名
指導者 教諭 笠島 博

| | |
|--------|--|
| 個人研究主題 | 少人数で話し合い（討議）を深め、社会の出来事に対して、問いかけの姿勢を保つようにするには、どのように指導していけば良いだろうか。 |
|--------|--|

1、単元名 第4章 わたしたちの暮らしと経済 3 国民生活と福祉

2、単元について

国民生活の向上や福祉の増大を図るためには、雇用と労働条件の改善、消費者の保護、社会保障の充実、社会資本の充実、公害の防止と環境保全などが必要なのは言うまでもない。

歴史の学習においては、敗戦期から高度成長期までの日本が、国民生活の向上や福祉の増大よりも、経済復興最優先の政策を行ってきたこと。その結果として数字の上では、国民総生産（GNP）が世界有数の経済大国といわれるまでになってきたことを既習済みである。

そこで、この単元においては、数字には表れない国民の真の豊かさや幸福感について、生徒の生活実態に重ねあわせながら具体的に追求させていきたいと考えている。

また、新聞記事に注目し、様々なニュースも視点を定めて並べなおしたときに、ある連続性を持っていることに気づかせる格好の単元であると確信している。将来的には適切な課題を設けて行う学習や選択教科、さらには、福祉・人権といった内容での総合的な学習に発展が期待できる教材である。

3、指導観

公民の授業にあたっては、毎時間研究主題と関わらせて、次の点を考慮して授業を行なっている。

- ①、日常、生徒が疑問に思うところを基準に据え、教材を組み立てる出発点にする。
- ②、生徒が「へえ」「なるほど」と、うなってしまうような具体的で典型的な教材、資料を示し、基礎・基本を定着させる。
- ③、将来の主権者としてふさわしく、社会を身つめ判断していく力を育てるために、社会の仕組み、矛盾をわからせる。

4、生徒の実態

公民の授業に対して、「地理・歴史に比べて難しい、勉強の仕方がわからない」と一応に感想を述べている。教科書の記述も、一般的・抽象的であり、この生徒たちにとって読解を授業の中心に据えていくことは、苦痛以外の何ものでもないと考える。

一方、社会や・流行に対する興味、関心や、雑学的な知識、知識欲は旺盛である。特に、自分たちの問題としてとらえたときには切実感をもち、教師の問いかけにも反応が良い。

話し合い、討議については、社会性、地域性の実態から、表面的で一面的な考え方を述べあうにとどまる場合が多く見られる。話し合い、討議まで高めていくためには、授業のなかでは、現時点では教師が色々な考えを示し、ゆさぶりを掛けていくことから始めている。

授業では、資料提示、課題設定を効果的に行なえば、必ず授業に意欲的に参加するようになり、結果として、話し合い、討議を行なえるようになるだろうと考えている。

（資料提示、課題設定で心掛けていること）

- ①、子供の興味・関心を誘い、切実感をもちさせるものであること。
- ②、わかりやすく、具体的なものであること。
- ③、既成の知識をゆさぶり、社会の仕組み・矛盾に迫るものであること。

5、単元目標

国民生活の向上と福祉の増大を図るための、国や地方公共団体が果たす役割を取り上げ、憲法第25条の生存権の意味を再確認させ、人権は完全に獲得しきったものではなく、現在でも、人権拡大の努力がなされていることに気づかせる。

6、指導計画

「国民生活と福祉」（5時間扱い）

1. 社会的弱者と社会保障（本時）
2. 介護保険制度の仕組みと問題点
3. 国債返済と社会保障の両立と少子高齢化社会
3. 地球温暖化防止国際会議と環境保全
4. 日本の財政の課題と展望

7、本時案

1、本時の目標

社会的弱者がどのような立場の人々であるか気づくとともに、社会的弱者を守るための社会保障の制度への関心を高める。

2、本時の展開

| 指導 段階 | 配時 形態 | 下位目標 | 発問・指示・説明 | 期待される生徒の活動 | | | 評価の観点 |
|---|------------|--|---|--|---|--|---|
| | | | | A | B | C | |
| ア プ ロ ー チ | 斉 ⑮ | <ul style="list-style-type: none"> 社会的弱者という言葉に関心を持つ 社会保障という用語の説明に関心を持つ | <ul style="list-style-type: none"> 新聞〇×クイズ 社会的弱者という言葉聞いて、どのような人々を思いがきますか? 社会的弱者の人々は、誰が守っているのでしょうか? 社会的弱者は憲法25条に基づき、税金によって守られなければならない。このことを社会保障と言うことを説明する。 | <ul style="list-style-type: none"> 今日の学習内容である部分の教科書を探そうとするだろう。 国・地方公共団体であることは容易に気づくであろう。 説明を、うなづきながら聞いているであろう。 | <ul style="list-style-type: none"> 思いえがいた言葉をいくつか発するであろう 国はすぐに気づくであろう 説明を聞きながら、教科書のページをくくっているであろう | <ul style="list-style-type: none"> 病人や老人という言葉に思い至るであろう。 何だわかってたのという表情を見せるであろう 説明は、しっかり聞くであろう。 | <ul style="list-style-type: none"> ○観察 ・学習準備 ・発言意欲 ○観察 ・発言意欲 ○観察 ・説明への関心 |
| 問 題 設 定 | 斉 ⑮ | <ul style="list-style-type: none"> 赤字国債の支払いをしなければならない将来の納税者も潜在的な社会的弱者であることに気づく 本時の問題をつかむことができる | <ul style="list-style-type: none"> 資料1(政府公報)から、このままでは日本の経済が破綻するので、社会保障費は削減しますよという広報が出された事実を説明し、その社会保障費の目的税として、消費税率を引き上げようとしていることなどを補足する。 では、今日の問題を発表します | <ul style="list-style-type: none"> 高い関心で説明に、食い入るであろう。 | <ul style="list-style-type: none"> 政府に対する憤りを表情に出すかもしれない。 | <ul style="list-style-type: none"> 広報の絵に落書きをし始めるかもしれない。 | <ul style="list-style-type: none"> ○観察 ・説明への関心 |
| 少子高齢化社会が避けられない事実ならば、社会保障を充実させるための増税は是か非か。 * 是の場合は(条件)、非の場合は(代案)を提示しよう。 | | | | | | | |
| 問 題 解 決 | 個 ⑮ | <ul style="list-style-type: none"> 増税を自分の問題として考えようとする | <ul style="list-style-type: none"> 問題についてのまず、態度決定をして、その理由をできるだけ多く書こう。 時間は3分間です。 よーい始め。(個に応じた指示) | <ul style="list-style-type: none"> 態度決定後の、条件や代案について、概念操作できるであろう。 | <ul style="list-style-type: none"> 多くは、負担増につながる非の態度決定はできるものの、理由まではなかなか想起できないと予想される。 | <ul style="list-style-type: none"> 考えようとする意欲が見られるはずなので、机間巡視で賞賛したい | <ul style="list-style-type: none"> ○机間巡視1 ・解決意欲 ・資料活用 |
| 決 集 ・ 努 力 | 集 ⑩ | <ul style="list-style-type: none"> グループ内で自分の意見を発表することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> では、グループごとに発表してもらいます。 | <ul style="list-style-type: none"> グループ内で自分の意見を最後に言う心象が見受けられる。(条件) 税の無駄遣いや不公平感を取り除く努力(代案) 歳出の他の費目の削減や国債発行の縮減などを意見として出せるだろう。 | <ul style="list-style-type: none"> 他者の発見を、自分の発見へと刷り込んでいくことができる 教師の投げかけから多くの気づきを得ることができるであろう | <ul style="list-style-type: none"> 他者の発見に耳を傾けつつも、深化はされていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ○机間巡視2 ・解決意欲 ・資料活用 ○相互評価 |
| 定 着 ・ 評 価 | 個 ⑮ | <ul style="list-style-type: none"> 板書を整理する | <ul style="list-style-type: none"> 板書を整理してください。 | <ul style="list-style-type: none"> しっかりと板書できる。板書後に教科書を読み始めるであろう。 | <ul style="list-style-type: none"> しっかりと板書し、資料として配ったものを整理し始めるであろう。 | <ul style="list-style-type: none"> しっかりと板書しようとするが、ていねさやい色の工夫にかけているであろう。 | <ul style="list-style-type: none"> ○机間巡視3 ・賞賛・励まし |